

『志』

～第2学年 学年通信 No.11～

令和7年11月17日(月)発行



2学期の期末考査どうでしたか。努力が報われた人も、課題が見えた人も、この経験を次につなげていきましょう。そして、いよいよ職場体験が近づいてきました。社会の一員として働くことを体験する貴重な機会です。挨拶や時間を守ることはもちろん、積極的に学ぶ姿勢を大切にしてください。新しい発見や出会いが、皆さんの将来のきっかけになるかもしれません。体調管理にも気を付けて、元気に臨みましょう。

■11月3週目の予定

17(月)	18(火)	19日(水)	20日(木)	21日(金)
生徒会朝礼 ①：学活 ②～⑥：通常授業	①～⑤：通常授業 ⑥：総合	①：道徳 ②～⑤：通常授業	①～⑥：通常授業	ジャージ登校 ①：通常授業 ②～③：ヨガ教室 ④～⑤：通常授業 ⑥：総合

■職場体験（チャレンジ・ザ・ドリーム）について

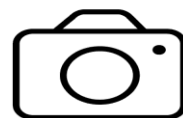
来週からチャレンジ・ザ・ドリーム(職場体験)が始まります。体験期間中は、各家庭から事業所へ向かい、終わり次第帰宅します。また、毎日ワークシートに記録を残しますので、ご家庭では励ましの言葉、またはサインをご記入ください。もし急病等でやむを得ず欠席する場合は、8:15までに保護者の方から tetoru へ欠席連絡をお願いします。また、8:15よりはやく体験が始まる事業所は開始時刻の1時間前までに tetoru へ欠席連絡をお願いします。その後、学校から事業所へ連絡します。

■合唱祭の様子

11/24(金)に合唱祭が行われました。これまでの練習の成果を発揮し、会場に響きわたるハーモニーがとてもきれいでした。来年の合唱はさらに良い歌声になると思います。合唱後はクラス毎に楽しくお弁当を食べました。



NO IMAGE



NO IMAGE

■合唱祭の作文

「合唱祭」

私は合唱祭で伴奏を務めました。最初決まった時は頑張ろうという気持ちと、クラス全員の歌を支える大切な役割だ、という責任感を感じました。今年のクラス曲は「COSMOS」で、この曲は静かな部分と力強い部分のどちらもある曲なので、ピアノの音で歌全体の雰囲気が変わる、と思いました。そこで私は YouTube などの動画で色々な学校の合唱を聞き比べて、良いと思った表現を参考にするなど、工夫をしてきました。曲が決まったときから、みんなを支えられるように練習したり、録音した動画を送ってアドバイスをもらったりして、少しずつ上達していくのを実感しました。

練習を続けるにつれて、少しずつクラスの歌がまとまっていき、そこにピアノが溶け合っていくのを感じました。指揮者とも、息が合うようになり、初めて最初から最後まで通せた時はとても嬉しかったです。本番の日、今まで練習した成果が出せる、ととても楽しみにしていました。歌が終わり、みんなの真剣な表情を見ると、「このクラスで良かったな。」と心の底から思いました。合唱が終わった後のみんなで食べる昼食はとても美味しく感じ、心に残りました。

私は合唱祭を通して、努力を続けることの大切さを学びました。今まで、ここまで熱中して何かに取り組んできたことがあまりないけれど、今回の合唱祭を通して感じた達成感を、これからの学校生活でも大切にしていきたいです。そして、来年は最高学年なので、今年の三年生のように、聞いている人に感動を与えられることを目標に頑張っていきたいです。合唱祭で学んだ団結力を忘れず、色々な場面でクラスのみんなと力を合わせていこうと思います。

「みんなでつくる一つの合唱」

十月二十三日、合唱祭前日です。私はなんと前日というのに思っきり声を枯らしてしまいました。喋るのもままならないほどだったから、歌うことを諦めていました。なぜなら私たちのクラスの歌は「空駆ける天馬」という歌で伴奏も指揮も歌う側も難易度の高い歌だったからです。また、私はアルトパートで、練習でもよくソプラノパートにつられてしまったりしていました。「声がこんな枯れている、つられているし、もう歌わずロバクでいいや。」とっていました。

練習の最後、先生がこんなことを仰っていました。「人任せな合唱は人の心に響かない。」という言葉です。私はこの言葉がすごく印象に残りました。声が枯れていてもできることはなにかあるはず、と思えました。そう心に決めて、本番を迎えました。声は治らなかったけれど、リハーサル室で最終確認をして、緊張と不安の中、舞台上がりました。私は声の限界が許す限り、歌えるところは一生懸命歌いました。声が枯れてないないときのように、うまく歌えなかったけれど、自分の中で一生懸命歌えたという達成感がありました。

色々あって声が枯れてしまって思うように歌えなかったけれど、クラスのみんなや先生が支えてくれたおかげで楽しく歌うことができました。私も諦めずに声を出すことができました。みんなと力を合わせて得たこの達成感と感謝の気持ちをずっと忘れずにいたいと思います。

「下剋上」

今日は待ちにまった合唱祭でした。約 1 か月間、今日のために用意してきました。私のクラスは、一番声の小さいクラスと言われていました。他のクラスの人たちから、「一番声小さいらしいね」と言われるたびに悔しくなりました。クラスの中心となる実行委員である私は、みんながどうしたら一つになれるのか、みんなのためになにができるのかずっと考えていました。

放課後の練習ではひたすら全部通して歌ったりして、改善した方がいい所を見つけたり意見をもらって、工夫を重ねていきました。初めの方はぎくしゃくした空気だったけど、練習を通して、クラスの雰囲気がよくなっていき、みんなの気持ちも前向きな気持ちで一つになりました。

最初はみんなをまとめることで精一杯でした。みんなに対して意見を言ったりすることが、少し怖いと思ったり嫌われたらどうしようと思ったり不安でいっぱいだったけど、クラスみんなが一つになるには絶対に必要なことだと気づき、日に日に自信を持つようになりました。前日の練習の時には今までで一番いい合唱ができ、本番でも緊張はしたけど最後まで笑顔で歌い続けることができました。

長いようで短かったこの一か月は私にとって本当にかけがえのない時間だと思いました。中学校生活も残り少なくなっているからこそ、今を大切にしていき、何事にも挑戦し思い出に変えていきたいと思います。

